

ちちぶ

2017.8.10

第49号

市議会だより



秩父市イメージキャラクター
ポテつまん

6月定例会

- 指定管理者の変更
(大滝こまどり荘)
- 工事請負契約の締結
(旧大滝中学校の改修)

吉田小学校ふれあい学校の
子どもたちは、
1年生から4年生の27名です。
学習も遊びも全力で取り組み、
明るく元気に活動しています。
四季折々の製作にも意欲的で、
毎日楽しく過ごしています。

6月定例会の議案質疑等の内容

6月定例会（6月7日から27日まで開催）では、市長提出議案21件のほか、議員提出議案1件、請願1件を審議しました。質疑、討論の主な内容は下記のとおりです。

指定管理者の指定期間の変更、指定管理者の指定（大滝こまどり荘）

趣旨 大滝こまどり荘の利用を促進し、さらなる効率化およびサービスの向上を図ることを目的として、現在の指定管理者である（株）源流郷おたきの指定期間を変更し、公募により選考した新たな指定管理者として（株）ヒーリングスペースを指定するもの。



大滝こまどり荘（コテージ）

問 指定管理者の一般公募の経緯はどのようなものか。また、民間のノウハウを活かすというのが指定管理者の変更の理由にもなっているが、具体的には。

答 昨年9月に指定管理者の候補である事業者の代表者から、こまどり荘の経営についての提案があった。この代表者はこまどり荘に隣接する溪流釣場を秩父漁業協同組合か

ら委託を受け運営しており、それと合わせての提案であった。こまどり荘は非常に経営状態が思わしくなかったため、これを機会に指定管理者を一般公募することとした。

これまでは来客を待っている状況で営業していたが、ソーシャルネットワークサービス（SNS）や代表者の幅広い人脈等を有効活用しながら、今後、上手く運営できればよいと考えた。

問 こまどり荘は旧大滝村において、地域の振興を目的につくられた。一般企業による指定管理となつた場合、本来の目的が達成されないという懸念はないか。

答 開始当初は地元雇用の創出が大きな目的であり、従業員の確保も中津川地区を中心に行われていたが、近年は高齢化により地元での人員確保が困難となり、他の地域からの社員で運営をしていた。

問 他の市内の指定管理施設の指定期間は5年であるが、今回の指定管理期間は。

答 他の市内の指定管理施設の指定期間と満了日を合わせる形で2年9か月とする。

問 指定管理者の変更によりどのように事業の改善が図れると考えるか。

答 現在のこまどり荘は冬季は休業、週二日間休館、レストランは昼食の提供はなかった。事業者による計画では、昼食の提供や、冬季の営業による通年営業も考えているとのこと。学習塾等と提携を結び冬場のゼミ合宿を行うことも考えている。

問 新たな指定管理者へ指定管理料が発生するか。

答 これまで地方自治法に基づき施設に係る利用料金を指定管理者の収入として収受させていたため、指定管理料は発生していなかった。今後、新たな指定管理者と締結する協定においても同様の方針である。

問 開設後20年以上が経過している施設であるが、現状の不具合個所についての修繕等は市が行うのか。

答 現在の指定管理者より不具合等の報告を受けており、エレベーターや内線電話等の不具合は早急に対応する。また、事業開始時には、市と事業者の両者立ち合いのもと、現地確認を行い、市の責任において修繕等すべき箇所があれば、補正予算を計上するなどし、対応する。

工事請負契約の締結

旧大滝中学校改修工事
金額 3億4290万円
業者 守屋八潮・黒沢特定建設工事共同企業体

問 改修工事の工期はいつまでか。

答 30年2月28日までの工期となる。

問 大滝橋も含めて大滝地区のふるさと集落生活圏形成推進事業の一貫として行われる今回の旧大滝中学校の改修により、大滝総合支所と大滝公民館が集約されるが、ふるさと集落生活圏形成推進事業いわゆるコンパクトシティのモデルとして、その後の事業をどのように展開していく予定か。



の様子（本庁舎4階）

答 旧大滝中学校をしっかりと整備し、今後、秩父版CCRCのミニ版ではないが最終的には大滝地区の皆さんに集まってきていただけるような方向まで進んでいければ良いと考える。

問 今回の大滝地区のふるさと集落生活圏形成推進事業（コンパクトシティのモデル事業）の成果や必要性について、今後、どのように市民に広報を行っていくのか。

答 市民への周知は、機会を捉え、必要に応じて説明していききたい。

問 この事業はコンパクトシティの考えを国が推進する中での事業でもあるが、住み慣れた地域に住み続けることを実現するための施策も強化して行く考えがあるのか。

答 将来的な構想として人口が少なく、高齢化率が非常に高い地域において、いかに住民の方と行政が連携をしていくか、ということになれば住んでいるところを集約するのが一番良いと思うが、あくまでも個人の意思があるので住み慣れたところが良いという方もいると思う。これから拠点形成推進協議会の中で、方向性について検討していきたい。



旧大滝中学校

**一般会計補正予算
(第一回)**

問 空家対策計画の策定に関する国庫補助金として、社会资本整備総合交付金約300万円がついた経緯は。

答 昨年11月、県に対し地域住宅等整備計画の空家再生等推進事業に事業採択を要望し、この度、交付金決定の内示を受け、予算計上した。

問 空家計画の策定は29・30年度の2か年の事業だが、予定は。

答 29年度は市内の空家の現状調査を毎戸調査により実施し、市内全域の空家情報を把握するとともに、一元管理による情報提供の効率化、サービスの向上を目的に、空家調査票を作成する。また地理情報システムによる管理システム



6月定例会本会議

の構築のため、空家位置データや空家調査票などのデータを確定し、維持管理に必要な方法を整理することで対策の効果的な実施を図る。30年度は協議会を設置し、空家等対策計画を作成したい。

問 ログビルダー研修業務委託料の内容は。

答 林業振興、木材の利用拡大のために市有林と羊山公園を研修地とし間伐材による原木調達からログハウス完成までの工程を学ぶ機会を提供する。昨年の12月の秩父夜祭の際に焼失した羊山公園の羊飼育施設2棟を丸太づくり工法を用いた研修により再建築する。

問 防災行政無線システム整備事業は、市町村合併前の互換性のない防災無線をデジタル化により統合を当初31年度まで3か年で行う予定であった。今回の2か年への事業期間の短縮は、国際情勢の緊迫化や、最近の異常気象による災害から市民の安心安全を守る

ものであるが、事業終了までの間は問題がないのか。
答 現在の武力攻撃事態と発生時の警報伝達方法は、勤務時間内の場合、職員が手動により行政防災無線システムを操作し、Jアラートからの伝達内容を呼び掛けることになる。勤務時間外の場合は、秩父消防本部の職員が同様の手段によりちびっ安心安全メール等から伝達内容により呼びかける。安心安全メールは、Jアラートと連動している。Jアラートと連動しているの

**国政・地方選挙における
供託金制度の見直しを
求める意見書**

庁舎ならびに各総合支所の配信局の整備、城峰山および栃本の送信局の整備。荒川地区は全域で屋外拡声子局の整備と戸別受信機の貸与を行う。また、大滝地区は一部屋外拡声子局の整備と全域への戸別受信機の貸与を予定している。整備ができたところからJアラートからの情報伝達が可能になる。

討論

賛成

国連人権理事会報告で「国際人権法」に適合していないと指摘された公職選挙法は、有権者全般の政治参加を萎縮させるという大きな問題を言っている法律である。

選挙制度の見直しを求める本意見書を採用することの意味は大きなものがあると考え賛成する。

問 29年度末からJアラートの配信が可能になるのか、それともすべての工事が終了しないと配信されないのか。
答 すべての工事が終了するまでの間は、現在の防災行政無線との並行稼働を考えている。今年度の事業内容は、本



常任委員会の報告

総務委員会

6月定例会で付託された議案4件及び請願1件について報告する。

◆専決処分(市税条例の一部改正)

問 新車の軽自動車税グリーン化特例の改正内容は。

答 購入の翌年に減免になるという特例による税の減免期限を2年間延長し、31年度までとしたものである。

問 土地等の譲渡に関する市民税課税特例の改正内容は。

答 優良住宅の造成等のため土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る市民税の特例で、2千万円以下で売った場合、税率3%を2.4%に軽減する措置等を3年間延長するものである。

◆専決処分(都市計画税条例の一部改正)

問 家庭的保育事業等の児童福祉法で規定する保育事業等の用に供する固定資産税の課税標準の特例について市で該当する事業所はあるのか。

答 この保育事業を行っている事業所が二つあるが、2事業所とも社会福祉法人であり、非課税のため、現在該当するところはない。

◆一般会計補正予算(第1回)

問 建物損害共済金の内容は。
答 羊山公園内の羊飼育舎及び堆

肥舎が焼失に対して支払われる保険金で計320万円の予定である。

◆工事請負契約の締結(旧大滝中学校改修工事)

問 大滝総合支所と公民館を旧大滝中学校に移転した時に、セキユリティの問題はどのように考えているのか。

答 総合支所と公民館の入り口を絞り、一つにすることで目を届かせるようにしたい。

問 大滝の方々の災害時の避難場所としても期待されているが、炊飯や調理の設備は。

答 避難所となることも想定し、調理等の設備も今回の改修工事に含まれている。

○以上2件は原案のとおり可決
◆秩父ミューズパーク内に天文施設の設置方について(請願)

意見 天文施設というのは、どの程度の規模なのか。財源を含めて継続して審査する必要がある。

意見 今回結論は出さず、引き続き慎重に精査すべきである。
○継続審査に決定

まちづくり委員会

6月定例会で付託された議案3件について報告する。

◆指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者の指定(大滝こまどり荘)

問 今回は民間業者との契約に

なるが、収支が赤字になった場合、契約解除や責任放棄に至るのではという、危惧についての考えは。

答 事業計画書やプレゼンテーションの内容、ヒアリング等を通して判断し決定した。計画どおりに進められることを期待している。

◆手数料徴収条例の一部改正

◆一般会計補正予算(第1回)
問 ログビルダー養成研修と羊山公園の羊関連施設2棟(羊飼育舎、堆肥舎)の再建築を併せて行う理由は。

答 昨年12月に焼失した羊関連施設の再建築に要する費用を1200万円と積算していた。しかし、以前より林業関係者から要望のあった木材活用に関する研修として建築することにより労働費の削減が可能となり、1000万円での建築できるとの結論が出た。二つの事業を効率的に行うことができ、経費の面でも有利であるため、研修として再建築することとした。

○以上3件は原案のとおり可決

文教福祉委員会

6月定例会で付託された議案2件について報告する。

◆専決処分(国民健康保険税条例の一部改正)

問 低所得者に対する軽減については6割、4割とあるが、今回の改正では、どのような方が対象と

なるか。

答 国民健康保険税は前年中の世帯の所得が基準以下の場合、その世帯の均等割と平等割に軽減割合をかけた額が保険料から軽減される。例えば、所得が33万円以下の世帯では6割軽減が適用される。今回の改正は、4割軽減の世帯を判定する世帯あたりの基礎控除額33万円に加える被保険者一人あたりの加算額を2万5000円から27万円に増額し、軽減対象世帯の拡大を図るものである。

問 拡大されたことにより、新たに軽減対象となると想定される対象者数および軽減額は。
答 左表のとおり。

軽減見込み額
(28年度課税を基にした試算)

医療分	均等割	76人	258,400円
	平等割	40世帯	260,455円
支援分	均等割	76人	152,000円
介護分	均等割	14人	39,200円
計			710,055円

○承認

◆子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正

○原案のとおり可決

6月定例会で審議した議案、請願の結果

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
		清流 6人	サン 6人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 金 清 野 2人
補正予算 一般会計補正予算（第1回）	原案可決	○	○	○	○	○	○
専決処分 市税条例の一部改正 都市計画税条例の一部改正 国民健康保険税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○
	承認	○	○	○	○	○	○
	承認	○	○	○	○	○	○
	承認	○	○	○	○	○	○
条例 子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正 手数料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
	原案可決	○	○	○	○	○	○
その他 指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者の指定（大滝こまどり荘） 工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○
	原案可決	○	○	○	○	○	○
議員提案 国政・地方選挙における供託金制度の見直しを求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○
請願 秩父ミュージアムパーク内に天文施設の設置方について【この請願を「継続審査」とすることについて採決しました。】	継続審査	○	○	○	○	○	○

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
		清流 6人	サン 6人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 金 清 野 2人
人事案件 農業委員会委員の任命（彦久保利平氏） 農業委員会委員の任命（高橋信之氏） 農業委員会委員の任命（横田友氏） 農業委員会委員の任命（新井初男氏） 農業委員会委員の任命（石橋総一郎氏） 農業委員会委員の任命（豊田辰夫氏） 農業委員会委員の任命（富田和雄氏） 農業委員会委員の任命（黒澤元国氏） 農業委員会委員の任命（新田恭一氏） 農業委員会委員の任命（豊田恵男氏） 農業委員会委員の任命（加藤勝市氏） 農業委員会委員の任命（高野忠財氏） 農業委員会委員の任命（桑東男氏）	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○
	同意	○	○	○	○	○	○

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議会議員団
 公明：公明党 絆：市民の会・絆 無会派：会派に属さない議員
 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対

● 人事案件

秩父市農業委員会委員の任命について意見を求められ、市議会はその方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市農業委員会委員

- 彦久保利平（下吉田）
- 高橋 信之（大野原）
- 横田 友（栃谷）
- 新井 初男（吉田石間）
- 石橋総一郎（太田）
- 豊田 辰夫（田村）
- 富田 和雄（太田）
- 黒澤 元国（中村町）
- 新田 恭一（山田）
- 豊田 恵男（蒔田）
- 加藤 勝市（永田町）
- 高野 忠財（下吉田）
- 桑 東男（上影森）

会派の結成

29年5月8日付で新しい会派「サンライズ秩父」が結成されました。所属する議員は左記の通りです。

- 会長 新井重一郎
- 副会長 富田俊和
- 相談役 笠原宏平
- 幹事長 五野茂次
- 会計 竹内勝利
- 監事 落合芳樹

インターネットで
議会議録中継を見る！

市議会では、本会議の様子をインターネットで録画中継にて配信しています。

パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って自宅などで、後日いつでも好きなときに見ることができます。

※録画中継は、各日の会議終了の概ね7日後から公開しています。

「秩父市ホームページ」から「秩父市議会」を選択し「インターネット録画中継」を選択するか、
 このように検索すれば、左記のようにインターネット中継のページが表示されます。

3月定例会の映像からスマートフォンやタブレットで視聴ができるようになりました。



一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 浅海 忠（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長3期目に向けて 2 三峰地域交通渋滞対策 3 市有財産の有効活用 	<p>⑤ 竹内 勝利（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市の有害鳥獣対策 2 荒川及びその支流の活用 	<p>⑨ 黒澤 秀之（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 秩父地域の有効求人倍率と雇用対策 2 市民満足度調査に基づく行政運営 3 西関東連絡道路の299号接続への対応 4 秩父市本町・中町まちづくり計画
<p>② 福井 貴代（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 胃がんリスク検診の導入 2 小中学校のトイレの洋式化 3 就学援助の増額と前倒し支給 4 手元に残せるプレミアム婚姻届 他 	<p>⑥ 大久保 進（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公共施設の洋式化 2 観光トイレの洋式化と新設 3 小中学校の勤務実態 	<p>⑩ 笠原 宏平（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 花見の里の活用 2 ファシリティマネジメントの現在の状況 3 高齢者の交通手段
<p>③ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国保広域化の第2次シミュレーション 2 介護保険等サービス利用助成金の申請 3 市内学校における「着衣水泳」指導 4 市県民税特別徴収通知書とマイナンバー 	<p>⑦ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長3期目の政治姿勢は 2 皆野秩父バイパスの終点地活性化 3 新庁舎再配置後の課題は 4 満足度調査を活かす取り組みを 	<p>⑪ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の勤務実態・授業改善・教育相談 2 住んでよし訪れてよしの観光地域づくり 3 秩父市長等の給料・報酬等審議会
<p>④ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子育て支援 2 教育行政 3 介護保険 	<p>⑧ 赤岩 秀文（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童の交通安全対策 2 二瀬ダム左岸における地すべりの事象 	

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

久喜市政3期目に向けて 「日本一しあわせなまち」実現の具体的な政策は



市民の会・絆 浅海 忠
あさひみ ただし

問 広域水道の整備、県水道を目指す具体的な方策は。

答 国は老朽化対策に苦しむ市町村水道支援のため、県に統合計画を策定させる水道法改定を進めている。県水道化については、広域化の済んだブロックから進めるよう4町と連携して県に強く働きかけていく。

問 旧秩父セメント第一工場跡地への企業誘致は。

答 市民の雇用への期待も大きく、大きな雇用を生み出すよう主に製造業を想定し、早期に企業の立地が実現できるよう努める。

問 C R C 構想の推進策は。

答 4月から開設している「移住相談センター」が中心に事業を推進し、主に豊島区民を対象としたお試し移住ツアーを開催予定。二地域居住や移住につなげたい。

市有財産の有効活用

問 旧秩父東高校、県との協議は。

答 土地については県と無償賃貸契約を締結し、契約期限が30年度末となっている。建物は、一部を除き耐震性が確保できておらず、電気・上下水道等が利用できない

状態で、一部を倉庫として使用している。今後の土地と建物の活用について、29年度以降、県と協議して方針を決定したい。

問 野坂二瀬住宅・福祉女性会館エリアを駐車場にできないか。

答 面積の半分以上が借地である。駐車場としての活用も検討していきたい。



市役所駐車場

◎市役所駐車場を有料駐車場として活用できないか
◎三峰地域交通渋滞対策

一般質問

胃がんリスク検診の導入



公明党 福井 貴代

問 胃がんリスク検診は、血液検査で胃がんの原因であるピロリ菌の有無と、胃の萎縮度を測定し、リスクがある人を内視鏡検査につなげ、ピロリ菌除菌で胃がんの予防と早期発見を助けるものである。導入についての考えは。

答 導入のためには、検査だけでなく、結果の判定から除菌までの体制整備が必要。予算確保や実施方法など情報収集を行い医師会や郡内4町とも協議、情報交換してきた。今後、前向きに検討する。

● 小中学校のトイレの洋式化

問 小中学校のトイレの洋式化の現状と、洋式化100%に向けた今後の取り組みは。

答 小中学校合わせた洋式化率は、58・4%で県下16番目。改築や大規模改修工事を実施していない学校では26・2%である。今後、学校の新築・改築を実施の際は100%を目指す。また今年度より、2か年の予定で小中学校の長寿命化計画の策定に着手。この中でトイレの整備計画を具体的に検討していく。

● 就学援助の増額と前倒し支給

問 要保護者の新入学用品費増額と入学前支給について、国は要綱の改正により、30年度入学者から実施する。全額市の負担となるが、準要保護者にも同様の支援が必要である。市の対応は。

答 29年度より、国の基準を参考に増額し、小学校は4万6000円、中学校は4万7400円とした。入学前支給については、30年度入学児童から実施の方向で、現在、準備を進めている。



学校トイレの洋式化



国の就学支援で前倒し支給を伝える記事

市民生活の安心・安全をめざして



日本共産党秩父市議会議員団 齋藤 捷栄

● 国保広域化の第2回シミュレーション

問 標準保険税額はどう示された。秩父市の一人あたり保険税試算額は12万7736円で、増加率は176・79%と第1回よりさらに高く示されている。

答 県への納付金は減額、標準保険税額は増額されている矛盾は。27年度決算額が、国の基準による補正が加えられて修正されているために矛盾が発生した。

問 運営方針原案の内容は。
答 納付金や標準保険税の算定方法など、県・市の国保事務及び運営の基本指針原案が示されたが、いまだ原案の段階である。

● 介護保険等サービス利用料助成金の申請

問 高齢化が進む中、煩雑な利用料助成金の申請について申請主義から行政サービスへ切り替えは。

答 申請主義から脱却した行政サービスへの切り替えは、近隣市町の状況も調べながら前向きに調査、研究、検討していく。

● 市内学校での着衣水泳指導



着衣水泳指導 (西小学校)

● 市県民税特別徴収通知書とマイナンバー

問 各地でマイナンバーが記載されている通知書の送付が問題となっているが、当市での対応は。
答 ナンバーの一部を伏字とした通知書を普通郵便で送付した。

問 着衣水泳指導の現状と課題は。
答 各学年を通じて発達段階に即した指導を行っているが、現状の年1回で充分とは思えない。更に研究を深めて指導内容の充実を図って行きたいと考えている。

一般質問

秩父市の教育行政

日本共産党秩父市議会議員団

出浦 ちかみ

章恵 あきえ



● 教員の多忙化の現状

問 教員の多忙化が問題になっている。これ以上研修を増やして良いのか。

答 学校をとりまく課題が増大・多様化している中で、学び続ける質の向上を図る上で研修は非常に重要である。とはいえ、国・県・市で様々な研修が実施されており、それらを適切に見直し、その体系化を図っていきたくと考えている。

問 教員は業務が多く、遅い時間まで学校の明かりが消えない実態がある。学校の施設時刻の記録を調査し、実態把握をして欲しい。

答 各学校で出勤記録簿等により把握しているが、今学期中に出勤と退勤の時刻をICカードリーダーを使って記録できるシステムを導入する。

問 教員の多忙化のひとつに部活動指導があるのではないかと聞かされた。

答 中学校の部活動指導は、教員の超過勤務の要因の一つであることとは否定できない。各学校の実態に応じて、42名の方々に部活動外部指導者として指導いただいている。今後、国の検討も踏まえ、外部指導者の活用も図りながら、部

活動指導の充実と教員の負担軽減につなげていきたい。

教員の多忙化については、慢性的な超過勤務から健康を害し、職務に支障をきたすようなことは避けなければならぬ。教育委員会としても、教員の適切な勤務時間の把握に基づき、学校の業務改善を行い、多忙化解消・負担軽減に向けて取り組んでいく。

教員の業務内容の一例

- ・朝学習、朝の会、出欠確認
- ・授業、試験監督
- ・授業準備、指導案作成、教材研究
- ・進路指導・相談、給食・清掃指導
- ・質問や宿題への対応など学習指導
- ・試験問題作成、採点・評価
- ・修学旅行、体育祭など学校行事
- ・クラブ活動の指導、試合引率
- ・児童会や委員会活動の指導
- ・学級活動・ホームルーム
- ・初任者指導、校舎環境整備
- ・職員会議、学年会、教科会
- ・校内研修、勉強会・研究会
- ・保護者・PTA対応、家庭訪問
- ・資料作成、経費処理などの事務
- ・町内会・地域住民への対応

小学校の時間割の例

8:30-8:40	打ち合わせなど
8:45-9:30	1時間目
9:30-9:35	休み
9:35-10:20	2時間目
10:20-10:40	休み
10:40-11:25	3時間目
11:25-11:30	休み
11:30-12:15	4時間目
12:15-13:00	給食
13:00-13:20	掃除
13:20-13:45	昼休み・移動
13:45-14:30	5時間目
14:30-14:45	掃除
14:45-15:30	6時間目
会議・部活・授業準備など	

- ◎ 貧困世帯の子どもへの学習支援
- ◎ 介護保険

秩父の自然づくり

● 市の有害鳥獣対策

問 カワウ対策は。

答 カワウによる食害被害対策については、埼玉県が「埼玉県カワウ対策協議会」を設置し、広域的な視野で対策指針を策定していることから、市でも「鳥獣被害防止計画」の中で被害対策に取り組み、有効な防止対策として、カワウの捕獲を実施している。漁協からの被害発生の申告に基づき捕獲許可を出し、捕獲従事者に対しては国から補助金が交付されている。今後も課題を考慮しつつ、関係機関と効果的な対策に努めていく。

問 カラス対策は。

答 猟友会に委託している有害鳥獣捕獲業務の中で捕獲を実施しているが、カラスは県からの調査費等の交付金や補助金が無く、現状としては捕獲報奨金を支払うことは難しい。捕獲の実施は猟友会の理解と協力が必要不可欠なので、捕獲意欲の向上に繋がるよう努めていきたい。

● 荒川および支流の活用

問 鮎釣りの場所が狭められた原因および荒川の環境整備は。

サンライズ秩父

竹内 たけし

勝利 かつとし



答 鮎釣りの場所が柳大橋近辺に狭まったのは、以前に比べ岩盤が露出し、天敵から身を隠す石等が少なくなり、生息に必要な藻の発生も少ないことが要因ではないかと考えられている。漁協によると今年度は柳大橋、武之鼻橋、秩父橋付近の3カ所に約1700キログラムを放流とのことである。市ではなるべく自然を残し、多くの植・生物が生息できるように環境にやさしい整備を進めていきたい。県の事業にも協力し、さらなる荒川の環境整備に取り組んでいく。



カワウの捕獲研修会

一般質問

公共施設のトイレ洋式化



公明党 大久保 進

問 公共施設トイレの洋式化率及び今後の洋式化の進め方は。

答 公共施設113施設を調査したところ、トイレ1191基のうち、すでに洋式化されているのは895基で洋式化率75・1%である。今後の取り組みについては、「公共施設等総合管理計画」との整合性を図るとともに、財政状況を勘案しながら進めていく。

●観光トイレ

問 洋式化率と今後の新設についての考えは。

答 市で管理している観光・公衆トイレは103か所あり、トイレ365基のうち、洋式化されているのは169基で46・3%となっている。高齢化社会やインバウンド事業を含めた観光誘致に重要な施策であると考えられる。25年度には、秩父への玄関口である道の駅ちちぶと道の駅大滝温泉の観光トイレについて洋式化を行った。トイレの新設については建設費用のほか、用地の問題や維持管理のためのランニングコストなど相当な費用が必要となり、外国人観光客の誘致と受け入れ態勢の整備なども考慮

しつつ、快適に利用できるトイレ設置の可能性を検討していく。

●小中学校教員の勤務実態

問 教員の残業時間は。

答 市内の学校では、小学校では2時間54分、中学校で3時間12分という回答があり埼玉県と同様の結果である。今学期中に、出勤と退勤の時刻をICカードリーダーを使って記録できるシステムを導入し、教員の時間外勤務に対して、多忙化解消・負担軽減に向け取り組んでいく。



洋式化90%の道の駅のトイレ

市長3期目の政治姿勢は



かなざき 末之 昌之

問 僅差だった市長選挙の結果をどのように受け止め、今後4年間の市政のかじ取りをどのように進めていこうと考えているのか。

答 選挙結果を真摯に受け止めて、それを基にしてこの4年間しっかりと取り組んでいく。市民が幸せを感じられる市政を作りたい。

●皆野秩父バイパスの終点地域活性化

問 バイパスの完成に伴う地域活性化策の一つとして、国道299号上蔭田交差点周辺の整備・開発が求められている。市として、農産物直売所や観光トイレの設置を県に対して強く促す考えは。

答 地域の活性化という観点では必要な施設だと思っているので、県に働きかけをしていきたい。

●新庁舎再配置後の課題は

問 新庁舎供用開始に伴う市役所機能再配置後の課題の一つとして、芸術文化会館にあった絵画等の常時展示の場が必要の声があるが。

答 市民会館や歴史文化伝承館等の一部を利用し、市民のみならず

の作品発表の場として利用できる。よう検討を進めている。

●満足度調査を活かす取り組みを

問 議会報告会の市民の意見を聞く会で「市民満足度調査結果で根強い不満がある医療や雇用にしっかりと取り組んで欲しい」との意見が出されている。これにどのように答えるか。

答 満足度を向上させるため重点的に事業を展開しなければならぬことに加え、取り組みや成果の市民への周知活動に努める。



急ピッチで工事が進む140号バイパス上蔭田交差点

一般質問

二瀬ダム左岸地域の地すべりの事象



清流クラブ 赤岩 秀文
あかいわ ひでゆき

問 昭和36年の二瀬ダム完成の数
年後から、畑にクレーターができ
る、道路ひび割れ陥没、井戸水の
減少枯渇、家屋の傾きや床下の地
割れ、壁のひび割れなど、何らか
の作用による地盤の動きがみられ
る。二瀬ダム管理所の地すべり調
査では異常はないが、この地滑り
の事象が確認されてから現在に至
るまでの経過と措置は。

答 二瀬ダム管理所によると、ダ
ム湖とこの事象は関係ない旨の
報告があったが、現在に至るまで
二瀬ダム管理所によりダム湖周辺
の麻生地区、寺井地区、上中尾地
区、三峰地区において地下水の水
位観測、傾斜計による地すべり観
測、基準点測量による斜面変動観
測が行われている。

問 この事象についての住民の相
談先はあくまで二瀬ダム管理所だ
けなのか。市が間に入る考えはあ
るのか。

答 基本的には、困った事が発生
した場合、二瀬ダム管理所へまず
相談してもらう。今後については
市としても情報を収集して関わっ
ていきたいと考える。

問 通常、地震・火災・風水害等

の自然災害によって家屋が倒壊破
損した場合、市が住民に対して罹
災(りさい)証明書を発行し、被
災者は保険等の手続きを進めるが、
この事象に起因すると考えられ
る家屋等の損壊により居住困難と
なった場合についても罹災証明書
の発行の対象となるのか。

答 この事象については、明確な
原因が解明されていないため、発
行できるかどうか研究する。



家屋内のひび割れ

◎児童の交通安全対策

秩父地域有効求人倍率と雇用対策



清流クラブ 黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき

問 秩父地域の有効求人倍率は、
リーマンショック以降、改善傾向
にあり、28年9月以降1・0を超
えている。しかしながら、市民満
足度調査における雇用の促進につ
いての市民満足度は変化がない。
この実態についての考えは。

答 好景気といわれる中で市民満
足度が上がらないのは、求職者と
求人側の条件が合わない雇用のミ
スマッチが考えられる。関係機関
と連携を強化し、一層の雇用促進
を図っていく。市民に対する周知
活動・広報も積極的に行っていく。

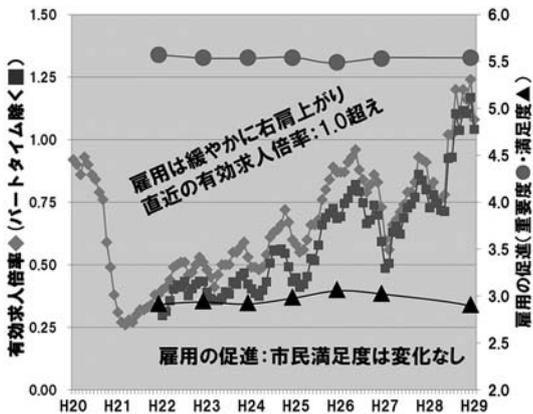
問 国の補助事業である実践型地
域雇用創造事業が29年3月末で終
了したが、今後の雇用創造事業は、
29年に新たに企画競争におい
て採択された国の補助事業により、
今後3年間に渡り雇用の創出を積
極的に図っていく。

答 29年に新たに企画競争におい
て採択された国の補助事業により、
今後3年間に渡り雇用の創出を積
極的に図っていく。

●市民満足度調査に基づく行政運営

問 市の行政サービスに対する総
合的な市民満足度が、年々下降し
ている結果を踏まえ、行政改革大
綱の進捗と今後の展望は。

答 総合的な満足度調査結果が、



秩父地域有効求人倍率と市民満足度調査結果の関係

◎西関東連絡道路の国道299号
接続に伴う施設整備
◎S A I T A M A おもてなしロー
ド整備事業に伴う本町・中町観光
トイレの再整備

一般質問

公共施設の活用とF M



サンライズ秩父 **笠原 宏平**
かさほろ たくへい

問 花見の里の活用は。

答 この施設は、15年に秩父宮林署跡地を荒川村で買収し合併後の19年に「ちちぶ花見の里」としてオープンした施設であり、現在春そば・秋そば・新そばの3つのイベント等で利用しており年間利用者は3万人前後である。しかし、もっと有効活用できないかとの意見もあり、荒川総合支所の若手職員の話し合いの場で、夏場限定のバーベキューができるオートキャンプ場などさまざまな意見が出された。今後各種団体とも意見交換を行い活用方法を考えていく。

● ファシリテイマネジメント

問 今までの実績と今後の取り組みは。

答 現在までに高篠・原谷保育所の閉所、浦山公民館を溪流荘へ機能移転、一部市営住宅の解体などを実施している。また今年度、旧大滝中学校を改修し、大滝総合支所、大滝公民館等を集約した小さな拠点作りを進めている。今後、各所管課が作成した施設方針に基づきヒアリングを実施し、着実にスピード感のある改革をしていく。



ちちぶ花見の里

● 高齢者の交通手段

問 高齢者の移動支援について

答 高齢者の移動支援はいくつかのサービスが提供されており、一つにみやのかわ商店街が行っている「ボランティアバンクおたすけ隊」また大滝・荒川地区で行っている通院のための移送サービス事業、また福祉有償運送における乗り合いによる買い物等の送迎サービスがある。市としても事業実施団体の周知と支援を行っていく。

秩父市長等の給料



きよの かずひこ **清野 和彦**

問 久喜市長が2期8年間続けた給料50%削減を終了し、本来の88万円に戻すことが発表されたが、削減のそもその理由は。

答 21年執行の市長選挙のマニフェストで50%削減を掲げ、当選後に公約として実行した。地方債残高の増加と税収の減少という厳しい財政状況の中、可能な限り財政に負担をかけず、市民サービスの充実を図りたいとしたものである。

問 財政状況が好転していないのに給料を戻しては本来の削減の目的が達成されていないのでは。

答 中期財政計画に沿って、32年から赤字転落になるところをなんとかやりくりし、赤字転落せずにやっていける道筋があった。

問 数年ごとに特別職報酬等審議会を開催し、市長や議員等の報酬について客観的な意見を聴取したうえで議会に諮るべきと考えるが。

答 審議会は一般的に額の変更に値する社会情勢の変化が生じた場合に市長が諮問するものと考えている。

● 教育現場・教育相談

問 教員の負担軽減、多忙化の解消への教育長の考えは。

答 ぜひ取り組んでいかなければならない。わかる授業を通していきいきとした学校とし、児童生徒の問題行動を未然に防止することは生徒指導の考え方としても非常に合致したものであると考える。



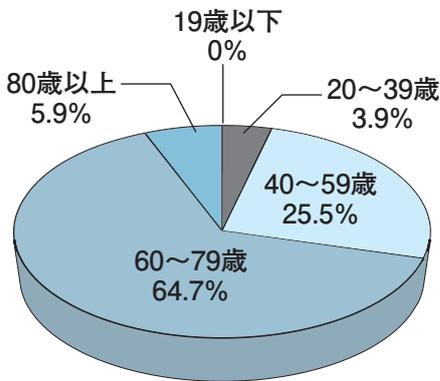
観光地域づくりには案内板の点検・整備が重要

- ◎ 日本版DMO・秩父地域おもてなし観光公社
- ◎ 観光案内板等の点検・整備
- ◎ 西武秩父駅前温泉「祭の湯」が秩父地域に与える社会的、経済的な効果

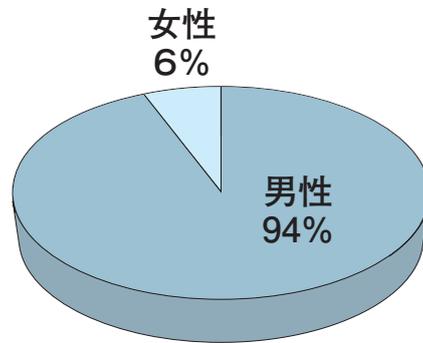
第6回議会報告会・市民の意見を聞く会を開催しました



5月19日(金)「第6回議会報告会・市民の意見を聞く会」を3会場(尾田蒔公民館、大田公民館、大滝振興会館)で開催しました。参加いただいた皆様には、貴重なご意見をありがとうございました。いただいたご意見やご提言は、議会運営等に反映させてまいります。



参加者の年齢

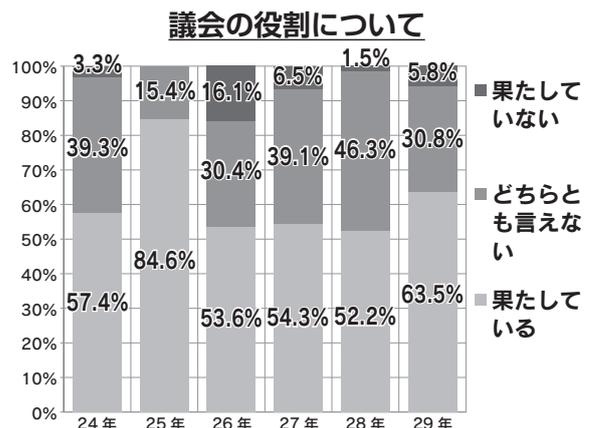
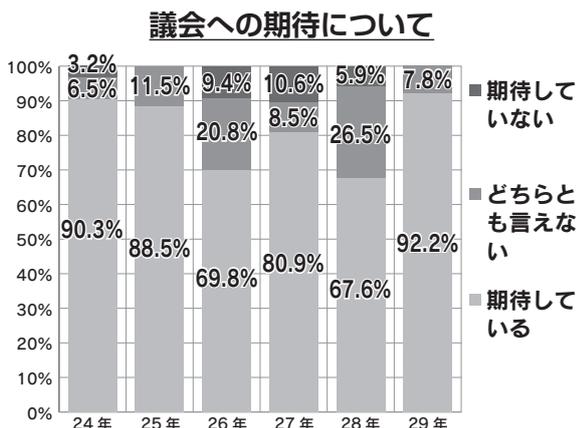


参加者の性別

- 市民の意見を聞く会について**
- 市民が意見を言える機会として貴重だ。これからも、市民と市政の架け橋となつてほしい。
 - すばらしい意見が出たが返答がいまひとつかなと思う。
 - 有害鳥獣対策は目に見え、感じられる対応をお願いする。
 - 人口減少対策、年配者の交通安全対策、市財政対策として各施設の見直し・統廃合について、取り組み状況を見えるようにしてほしい。

- 議会報告会について**
- 議会報告会の宣伝をもっと行うとともに、開催回数をもっと増やしていただきたい(年4回)。
 - 開催地区住民のみを対象として議会報告会を実施してほしい。
 - プロジェクターの使用により説明が分かりやすくなった。
 - 特に委員会の話し合いの内容が分かりやすかった。
 - 説明に使用した資料を配布していただきたい。
 - 議会報告会について、内容が不十分。年度内のポイントを決めて、具体的内容を報告していただきたい。

アンケート記載の意見 (一部抜粋)



意見・要望への回答

総務委員会

問 市民満足度調査結果を踏まえ、病院や医療、雇用問題についての取り組みは。

答 市民満足度調査結果の指摘されている事については、重く受け止め、対応策について検討していく。(改革推進課)

問 高齢者が公民館活動へ参加するための交通手段を考えてほしい。

答 高齢者の移動支援については、いくつかサービスが提供されている。まず、みやのかわ商店街振興組合が行っている「ボランティアバンクおたすけ隊」がある。援助を必要としている高齢者や障がい者、子育て中の方々に有償支援するシニアボランティア中心の組織で、買物代行のほか、通院などの送迎サービス事業も行っている。また、市内で活動するNPO法人が、障がい者、介護認定者、介護予防・生活支援サービス対象者に対して、福祉有償運送における乗り合いによる買物等の送迎サービスを始めている。現状の乗り合いタクシーもご利用いただきたい。(市民生活課)

問 たばこ税は、市の大きな財源であり、喫煙者の立場から、新庁舎内にきちんと喫煙スペースを整備すべきではないか。

答 22年2月25日付け厚生労働省通達『受動喫煙防止対策』により官公庁施設は全面禁煙とすることが望ましいとされている。受動喫煙による健康への悪影響を防ぐため、喫煙場所を指定し、施設内禁煙とさせていただいている。喫煙場所としては、本庁舎3階北側外部テラス、歴史文化伝承館屋外側喫煙スペース、市民会館国道側屋外喫煙スペースの3か所に設けている。(管財課)

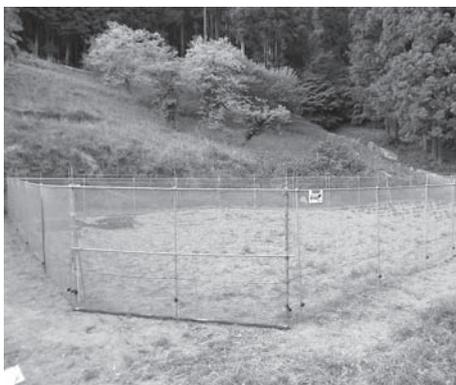
まちづくり委員会

問 毎年カワウ200羽を駆除している。カワウが増えたことで、河川に魚がいなくなった。生態系が変わってしまった。カラスの異常な増加にも苦慮している。カラスを撃つのは難しい。弾が1発200円。カラスは駆除の対象となっていないため補助金がない。弾代だけでも考えてほしい。

答 カワウについては駆除・繁殖抑制対策として国からの補助金が交付されているが、カラスについてはカワウやイノシシやニホンジカなどのような補助金(国・県から)が無いため、捕獲報償金を支払うことは難しい。(生活衛生課)

問 大血川地区で農業をやっているがイノシシの被害を何度も受けている。まちづくり委員会では有害鳥獣処理対策で福井県若狭町を視察したと聞いた。ネットフェンスの設置補助もあるようだが、秩父市での補助についての情報がほしい。

答 市にも防除対策として電気柵等の設置補助制度はあるが、被害対策は被害を及ぼしている獣種・土地の形状・耕地周辺の状況等、地域の特性により異なるので、まずは被害現場を所管している担当課(支所管内であれば各総合支所地域振興課)に直接相談してほしい。(農政課)



サル・シカ・イノシシ対応型電気柵

問 長尾根トンネル建設に向けての動きを具体化してほしい。

答 現在、秩父地域基幹道路建設促進議員連盟等で、国および県に対する要望活動を展開している。(道づくり課)

文教福祉委員会

問 不登校等の問題を抱えた児童・生徒の、相談に対応する「ひまわり教室」が、荒川総合支所に移ったのはなぜか。吉田地域からも遠い。なぜ、新庁舎ができたにもかかわらず、歴史文化伝承館や新庁舎に配置されなかったのか。また、子どもの状況に合わせ、必要な地域や家庭に出張で教える仕組みも必要ではないか。

答 荒川総合支所に教育研究所が移転した理由は、教職員の研修室や研究機能としての図書室、教育相談をする個別相談室、適応指導教室としての学習室等のスペースが確保できること。また、落ち着いた環境で、地理的にも市役所から車で15分、鉄道の駅も近く、電車を通うことも可能であること。今年度からスクールソーシャルワーカーを1人から4人にし、学校や関係機関との連携も密にし、充実した教育相談を進めていく。(教育研究所)

◎各会場における実施報告書、その他の問合せ、意見、要望内容は、秩父市議会ホームページから閲覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

用語解説

P2【指定管理者制度】

公の施設の管理・運営を株式会社などの法人その他の団体に代行させることにより、民間事業者等が有するノウハウを活用し、施設の設置の目的を効果的に達成するための制度。

P2【ふるさと集落圏形成推進事業】

人口減少や高齢化が先行・加速する地方の過疎地域などにおいて、暮らしの安心を支える複数の地域活動の場を集めた「小さな拠点」の形成に向けて、市町村が行う既存の公共施設を活用した施設改修などに補助を行い、集落の活性化を図る総務省の事業。

P3【コンパクトシティ】

人口減少・高齢化等により地域の活力が低下しつつある地域において、拡散した生活に必要な諸機能を集約させ、効率的で持続可能な生活圏の再構築をめざす政策。

P3【社会資本整備総合交付金】

国土交通省所管の個別補助金を一つにまとめた交付金。市町村にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として22年度に創設された。

P3【ログビルダー】

ログハウスを作る職人。

P3【Jアラート(全国瞬時警報システム)】

弾道ミサイル情報、津波警報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を国から送信し、市町村防災行政無線等を自動起動することにより、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステム。

P6【CCRC構想】

都市部などの幅広い世代の住民が、自らの意思で地方へ移り住み、地方の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送るとともに、医療・福祉等の地域ケアの整った多世代共生のまちづくりをめざす「生涯活躍のまち」構想。

P11【ファシリティマネジメント(FM)】

施設や設備等を、総合的、長期的な視点から、最も効率的、効果的な状態で活用していくこと。

P13【ひまわり教室(適応指導教室)】

市内の小中学生を対象とした、学校に行きたいけれど行けない子どもたちに、学校へ復帰するステップとして、自立への支援と援助を行う教室。

永年勤続表彰

去る4月19日開催の埼玉県市議会議長会および、5月24日開催の全国市議会議長会の各総会において、永年勤続表彰が行われ、当市議会は次の方が表彰されました。

「埼玉県・全国市議会議長会」

江田 治雄 議員

表彰 15年以上



9月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
9月5日(火)	開会、議案説明
8日(金)	議案に対する質疑
11日(月)	まちづくり委員会
12日(火)	文教福祉委員会
13日(水)	総務委員会
15日(金)	一般質問
19日(火)	
20日(水)	
26日(火)	委員長報告、採決、閉会

※ 議場は、本庁舎の4階です。
※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もあります。

編集後記

6月定例会は、梅雨時期とは思えない程、降水量も少なく渇水が心配されるなか閉会となりました。さて6月定例会では11人の議員が一般質問に登壇し、市政に対する様々な質問、要望等が活発に議論されました。

議論の内容をお知りいただくツールの一つとして『市議会だより』があります。この市議会だよりをお読みいただき市議会に関心をお寄せいただけましたなら、ぜひ今度は議会を傍聴されてはいかがでしょうか。議会を傍聴することで、市議会の活動を肌で感じる事ができます。新議場に移り傍聴者は増えておりますが、今後とも議会に関心を寄せていただき、傍聴席が満席になる事を心待ちにしております。

平成29年7月 赤岩 秀文 記

編集委員

- 委員長 木村 隆彦
- 副委員長 大久保 進彦
- 委員 江田 治雄
- 委員 清野 和彦
- 委員 赤岩 秀文
- 委員 出浦 章文
- 委員 高野 宏